

同時接種に関して

「予防接種に行ったら一度に何本も注射されましたけど、大丈夫なんですか？」
といったご質問がありました。今回は同時接種のお話です。

0歳の時に接種していただくワクチンは注射で10回（無料）、この他、有料となりご希望があればの話になりますが、B型肝炎ワクチンが3回、インフルエンザ(6ヶ月以後)が2回、飲むタイプのロタワクチンが2-3回あります。全部接種すると17-18回の予防接種となります。

10年前まではヒブワクチンなどなく接種回数は少なかったため一度の受診で1回のワクチン接種でした。ご両親様にとっては予防接種を一度に複数する経験がなかったでしょうし、泣ける子供を押さえて接種することになるので冒頭のご不安は当然かと思えます。

予防接種行政において実は日本は後進国でした。他の国では生まれてからすぐ接種していたワクチンが日本では承認されないという時代が長く続きました。子供を病気から守りたいという様々な方々の努力によりようやく最近海外並みに予防接種が出来るようになった結果、予防接種の回数が増えることとなりました。

これだけの数の予防接種を一度の受診で1個ずつやっていくと終了するまでに8-9ヶ月必要となります。当然その間はウイルス、細菌に対して無防備な状態が続きます。

これらのワクチンにより、早期にそしてスムーズに予防効果を発揮させるために日本小児科学会では同時接種を推奨しています。現在分かっていることとして、1.同時接種してもそれぞれのワクチンの有効性は変わらない。2.同時接種しても副作用の頻度は増えない。3.同時接種において接種出来るワクチンの本数に制限はない。また、その利点としてより早くから子供たちを病気から守れて、ご両親様の病院への通院回数も減らせ、経済的、時間的負担が軽減する、といった点が挙げられます。

同時接種する場合2本であれば両腕に、3本目からは通常太ももに接種しますがお尻でもかまいません。海外では腕を使わず、太ももに3cm程度の間隔を空けて複数本接種することもあります。

同時接種は世界中の国々で以前から安全に実施されてきたやり方です。特別なことをしてるわけではなく、ようやく日本も他の国と同じレベルまで予防接種

が出来るようになったと考えていただいていいと思います。

確かに泣いてる子に何本も注射するのは忍びなくありますが、その子を病気から守って元気に大きくなれるよう、同時接種を自信を持ってお勧めします。

当然ご病気があったり、ご両親様のお考え等あれば 1 種類ずつ、あるいは 2 種類までといった対応もあり得ると思います。

お子様に応じたスケジュールをかかりつけの先生とご相談されて下さい。